

NETWORK

にしかわ

6

2026
No.843



P.2-3
ダムオープン化特集
P.4
ドッグランオープン

西川町について詳しく知りたい方、ご意見・

お問い合わせなどは、町のホームページをご覧ください。

寒河江ダム河川空間“オープン化” 特集



▲(株)月と山 高橋代表取締役

西川町には月山があって今でもたくさんの観光客の方が来てっていますが、その他にも目的地になるところを作りたいと思っていました。ダムのオープン化はこの“目的地”となる候補として十分なポテンシャルを持っていると思っています。



▲RUSTICA 阿部代表

月山湖は高速道路から近く、大噴水などがある他にはないとても魅力的な場所なんです。ここで水上アクティビティができたら、絶対楽しいだろうなという思いがありました。今回のオープン化でそれが可能になり、心の底からありがたかったです。



▲大井沢ふるさと民宿旅館組合 遠藤組合長

乗り越えなければいけない課題はあるとは思いますが、オープン化では限られたエリアだけではなく、それに注がれる寒河江川上流などもっと広域に盛り上がってくれば嬉しいと思っています。



▲月山志津温泉旅館組合 清野組合長

これまで景観として親しまれてきた月山湖周辺の自然資源が、今後は体験を楽しめる空間として、さらに価値が高まっていくことを期待しています。町や民間事業者の皆さんとも連携して『また来たい』と思ってもらえる地域づくりを目指していきたいです。

寒河江ダム(月山湖)のオープン化



指定区域エリア別 (①黄色、②水色、③赤、④緑の着色部分)

①カヌーセンターエリア

②湖面全般エリア

③大噴水・水の文化館エリア

④堤体・スポーツ広場エリア

個人だと、水遊びは怖い時もありますが、ダムのオープン化で水遊びのプロがいてくれるので安心です。ライフジャケットなども準備しなくていいし、楽しみです。カヌー人口増加にも期待しています。



▲郷野さんご家族

寒河江ダム(月山湖)のオープン化とは!?

寒河江ダム(月山湖)区域では、原則として営業活動は認められていませんが、地域の合意を得たうえで河川法の要件を満たし、オープン化の指定を受けることで、民間事業者による営業活動が可能となります。

4月にオープン化の指定を受けたことで、昨年は社会実験として行っていたカヌーセンターを中心とした営業活動が正式に認められました。



▲広々としたトレーニングルーム



▲カフェとラウンジでゆったり



▲SUPに乗って水没林を散策



▲HOBIE (ホビー) は安定感抜群



▲シンボルの大噴水を湖面から



▲堤体下の監査廊ツアー

月山と朝日連峰に囲まれた豪雪地帯ならではの豊かな自然と四季が西川町の魅力の一つであり、観光資源にもなっています。そして、その月山と朝日連峰のちょうど間に「寒河江ダム(月山湖)」が位置し、そのアクセスは国道112号線や山形自動車道月山インターチェンジから近く、非常に良好です。

これまで、月山湖は主にカヌー競技で活用されてきましたが、昨年6月末にオープンしたフェリスシア月山カヌーセンターにより、「HOBIE (ホビー): 足漕ぎカヌー (県内唯一)」や「SUP (サップ)」, 「レジャーカヌー」など各種ウォーターアクティビティの常設や、カヌーセンター内のワーキングルームやラウンジ、カフェ、トレーニングルームを目当てに足を運ぶ方々など、カヌー競技関係者以外の来訪者も受け入れられるようになりました。

平成2年にダムが竣工して以来、町は長年にわたりダム周辺を活性化させる手法を模索してきましたが、このたびのダムオープン化指定により、指定区域内での民間事業者(町との契約が必要)による収益事業が可能となりました。

ダムオープン化とは、正式には「河川敷地占用許可準則に基づく都市・地域再生等利用区域の指定等」と呼ばれるもので、町が国土交通省東北地方整備局からその指定を受けました。県内では飯豊町「白川ダム」、長井市「長井ダム」に続き、3例目となります。

今後町は、寒河江ダム(月山湖)を拠点とした観光誘客のための様々な取組を進めて行く予定です。



道の駅にしかわにドッグランオープン!



「道の駅にしかわ」内のフェリシア公園に屋外ドッグランがオープンしました！
町内外の愛犬家の皆さまにお楽しみいただける、新たな交流・憩いの場として気軽にご利用いただけます。
愛犬を思いきり遊ばせながら、ご家族や来訪者同士の交流の場としてぜひご活用ください。

- 場 所：道の駅にしかわ フェリシア公園内
- 開園時間：9:00～17:00 ※雨天時閉園
- 料 金：無料（小型・中型犬専用）



▲思いつき走り回っています！

【利用ルール】

- 狂犬病予防接種を受けた犬のみ利用可
- 飼い主の目の届く範囲で利用すること
- 糞尿の始末は飼い主の責任で対応すること
- ルールを守り快適な利用にご協力ください



『つながる商品券』の利用期限は6月30日までです！



利用期限を過ぎるとご利用できなくなりますので、お手元に残っている商品券は、お早めにご利用ください

TOPICS

今月のまちの情報をお届けします。

モンテディオ山形の田中選手、平賀選手が西川小学校で「夢クラス」を開催

5月20日、モンテディオ山形の田中^{たなか}社^{しどう}同選手、平賀^{ひらが}大空^{そら}選手が西川小学校にて『夢クラス』を開催しました。『夢クラス』とは、Jリーガーになる夢を叶えたモンテディオ山形の選手たちがゲストティーチャーとなり、夢をもつことの素晴らしさや努力することの大切さを育んでいく素敵な授業です。

参加した西川小学校6年生の松田^{まつだ}深鈴^{みずすず}さんは『私の将来の夢は米農家と美容師です。昨年稲刈りをしてみて楽しかったのもっとやってみたいという気持ちが強くなりました。』と発表してくれました。

選手からのキャリア発表では、『夢を追いかけているといろんな意見を言うてくる人もいるが、気にせず夢に向かって努力してほしい』と田中選手からアドバイスを送ってもらいました。



▲選手と一緒に記念撮影する児童たち



▲児童の質問に答える選手



▲プロ選手と触れあう貴重な時間



▲将来の夢を発表する松田深鈴さん

西川小学校大運動会が開催されました

5月23日、西川小学校グラウンドにて西川小学校大運動会が開催されました。前日の雨とは一転し当日は快晴の中、各学年の徒競走に始まり、まり入れ、渡り船リレー、全員リレーなどの競技が行われました。

応援合戦では、赤組、白組の各組頭を中心に息のあった応援合戦を見せてくれました。

参加した保護者たちは、成長した児童たちをみて感慨深い表情をしている方も見受けられました。



▲表彰式の様子

西川小学校の児童が田植え体験を行いました

5月28日、西川小学校の5年生23名がJAさがえ西村山の川井大輔さんの指導のもと田植え体験を行いました。

川井さんからは、稲の植える本数などを解説いただき、児童たちは真剣な眼差しで耳を傾けていました。

最初は田んぼの中に入るのを戸惑う児童もいましたが、徐々に雰囲気慣れはじめ、最後には参加した児童全員が田植え体験を行うことができました。

体験を通して、自然の恵みや食への感謝の気持ちを学ぶ貴重な機会となりました。収穫の秋が楽しみな素敵な笑顔が広がっていました。



▲みんなでそろえて植えています



▲町公式LINE

菅野大志の「いどばた会議」

vol.44

まちづくりに関する活動や近況などを
西川町長・菅野大志が綴ります。

今月の大ニュース！

上小沼地すべり対策は大型予算 (53億円) の国直轄工事に！

1. 上小沼は町内1,300世帯以上に給水する重要な水源地！

長年、町では、年間数十センチの地すべりが起きており、水源地の維持や集落と国道を結ぶ町道維持が大きな課題を抱えております。この背景には、渡邊永悠前みどり共創課長の熱意と定期的な国への要望活動が実を結び、林野庁で10年・53億円の予算化が決定。鈴木憲和大臣や山形県知事にお礼と確実な実施を要望。あきらめなくてよかった🍀

▲鈴木憲和農林水産大臣に
説明する菅野町長

2. 庄司紗千コンサートinトラヤワイン

5月2日(土)、トラヤワインさんと親交のある、シンガーソングライターの庄司紗千さんコンサートを開催。昨冬には、大井沢の自然と匠館でもコンサートを開催。庄司さんは、ラジオを通じて大井沢のこと、めのう工人の上野ご夫婦のこと、役場の雰囲気がいよことなど、積極的に町を広報いただいています。これをご縁に町の月山ふるさと大使となっていたきたい！

▲やさしい歌声で会場を魅了する
庄司紗千さん

3. 山形県議会がフェリシア月山カヌーセンターを視察

県議会総務常任委員会（遠藤和典委員長）が重要なスポーツ施設としてご視察いただきました。観光課の長岡剛補佐と山形県カヌー協会の木村文浩理事長から、カヌー競技場としての優位性（1,000mコースは日本で4会場のみ。音響・湖面Wi-Fiで効率的な大会運営等）や国際大会誘致をご説明・要望しました。

国際大会誘致に向けて、日本スポーツ協会の遠藤利明会長が、全国中学カヌー大会の開幕日の7月24日（金）に来町予定。カヌーセンター建設を契機に町内で経済効果を感じられるよう頑張ります🔥

▲県議会総務常任委員の皆さんへ
説明する木村理事長

4. 副町長に柴田知弘さん。米月山・西川町総合開発は黒字を維持

議会に副町長人事にご同意いただき、7月1日、柴田知弘観光課長が副町長となります。地域や町民をよく知る心強い先輩で、企業誘致など西川の未来を変えるため二人三脚で頑張ります。また、今年度も第三セクター2社は黒字を維持。西川町総合開発は創立2度目の配当を実施し、町に利益を還元します。道の駅にしかわ、銘水館、月山地ビールをご愛顧いただき、ありがとうございます。

◇町の活性化をデザインの力で

元々会社に勤務し、デザインの仕事をしていました。会社に勤務していた頃はどうしても営業担当者がクライアントと話すことも多く、求められるデザインにならないこともあり。吉太郎デザインを始めた今はクライアントと直接お話をもらえることで、話の内容だけでなく、言葉では表現が難しい雰囲気についてもデザインに生かしているのかなと、千賀さん。

一方、隼人さんは、珈琲好きが高じてキッタロ珈琲を始め、今ではその奥深さに魅了され『J.C.Q.A認定コーヒーインストラクター1級』を取得するまでに。

私たちはデザインすることや珈琲が大好きで、美味しい珈琲を皆さんに提供していきたいと思っています。しかしそれだけに限らず、せっかく西川町に住んでいるので、キッタロ珈琲という場所が町の方が集まってくれたり、けん玉をしながらワイワイしてくれるそんな空間のひとつとなればいいなと思っています。そういった空間デザインを通して、西川町の活性化の一助となるようこだわりたいです。

吉太郎デザイン&キッタロ珈琲
(海味)

おくやま はやと
奥山隼人さん (44)
ちか
千賀さん (45) ご夫妻

TOPICS

今月のまちの情報をお届けします。

企業版ふるさと納税をいただきました

株式会社LABEL LINK様より企業版ふるさと納税を通じて本町の地域振興に多大なる支援をいただきましたことに感謝の意を表し、町から感謝状が贈呈されました。

当日は、町から代表取締役の竹様へ感謝状を贈呈し、多大なる支援に感謝の意を述べさせていただきました。

LABEL LINK様からいただきましたご寄附は、保育園留学に活用させていただきます、さらなる関係人口の創出に寄与できるように使用させていただきます。



▲LABEL LINK 竹代表取締役 (左)

三山電車の模型を寄贈いただきました

三山電車4両(103型～106型)、レールを亀谷裕敬さんより寄贈いただき、西川町歴史文化資料館に展示しております。当時の面影を忠実に再現した鉄道模型となっており、当時を知る方にとっては懐かしさを味わうことができ、当時を知らない方にとってはレトロ感に浸れる作品となっております。

当模型は、亀谷英輝さんが趣味で作成したもので大好きだった三山電車をゆかりのある博物館に寄贈したいという思いから西川町歴史文化資料館に寄贈いただいたものです。

三山電車の貴重な鉄道模型を間近で見ることができますので、西川町歴史文化資料館へどうぞお越しください。



▲精巧に製作された三山電車の模型

TOPICS

今月のまちの情報をお届けします。

“めぐる”“たべる”“つかる”ONSEN・ガストロノミー開催

5月16日、西川町歴史文化資料館をスタートし、道の駅にしかわの約9Kmの道のりを食べて、歩いて、浸かるONSEN・ガストロノミーが開催されました。

今回のイベント参加者は、町内だけでなく、町外の方も含めて総勢180名。参加者は、各スポットで提供される食べ物や飲み物に舌鼓をうちながら、町民との交流を楽しんでいました。

県外からの参加者からは、『西川町に来るのは2回目。前に参加した時に楽しかったので、友達を連れてきた』と話してくれました。

ゴール地点である道の駅にしかわに到着した参加者には疲労感もさることながら、達成感に満ちた表情でゴールする姿が印象的でした。



▲西川町歴史文化資料館をスタートする参加者



▲地元の料理と笑顔でのおもてなしに笑顔で答える参加者



▲ゴール地点でも満面の笑み

西川中学校体育祭が開催されました

5月22日、西川中学校体育館にて西川中学校体育祭が開催されました。当日はあいにくの雨模様で、実施場所がグラウンドから体育館へ変更になり、混合リレーは中止となってしまったものの、1学年から3学年までの学年種目と“長縄”や“むかで競走”では大いに盛り上がりを見せました。

応援合戦では、グラウンドとは違い体育館ならではの狭い環境で、声が共鳴しより迫力のある応援合戦が繰り広げられました。

観戦した保護者からも歓声が上がるなど、近い距離感での体育祭をみんなで楽しんでいました。



▲優勝旗返還 ここから闘いが始まります！



▲迫力ある応援対決 紅軍、白軍共に熱戦を繰り広げました



▲息を合わせてイチ、二、イチ、二

町内出身学生がつなぐ 私は元気でやってますリレー

私は都市計画やまちづくりを学びたいと考え、茨城県にある筑波大学に進学しました。現在は卒業研究として道路の維持管理について研究しています。

高校まではバレーボールやラグビーなど、スポーツ中心の生活を送っていましたが、大学では研究と並行して旅行や料理などの趣味も楽しんでいます。

来年からは大学院に進学し、引き続き研究を行っていきたいと考えています。悔いのないよう学生生活をやりきりたいと思います！



さとう しゅんご
佐藤 俊吾さん

西川町睦合出身
現在 茨城県つくば市在住

沼山地区の歴史を深く知る1冊

この度、町の歴史に関する研究の成果をまとめた西川町史資料第34号【沼山村文書】が発刊されました。沼山村としての資料発刊は2回目の出版です。

今回の資料の基となった「沼山村文書」は、旧沼山村の真言宗修験橋本坊（現所有者＝長沢健一さん・東京都在住）で保存されていたもので、「寛文沼山村検地帳」をはじめとする貴重な記録がたくさん残されています。

こうした現存する古文書や写真などを手掛かりにまとめられた資料を読み解くと、江戸時代からの沼山地域のルーツや当時の沼山村の様子をうかがい知ることができます。

西川町歴史文化資料館で1冊1,000円で販売しています。ふるさと西川町の歴史を深く知る1冊としてぜひご一読ください。



▲西川町郷土史調査員の
清野幸夫さん

～おめでとうございます～
Congratulations! それぞれの道で輝く皆さんの功績を称え、ご紹介します。

力を合わせて3位入賞!

4月29日、第46回朝日町長杯争奪剣道大会が朝日町立朝日中学校体育館で開催され、西川中学校の男女生徒が他地域との合同チームとして大会に参加し、22チームが参加した女子団体戦においては、見事第3位に入賞しました。



▲一番左 おくやま ゆあら
奥山結愛良さん（西川中2年）

着任のご挨拶

うえはら りか
上原 梨花さん（間沢在住）

この度、6月1日より地域おこし協力隊として着任しました、上原梨花と申します。

大学では農業を学び、前職では学童保育の職員として子どもたちと関わりながら、自然体験イベントの企画・運営などを行っていました。

西川町には昨年5月と7月に「おたすけ隊」として訪れました。地域の皆さんが本当にあたたかく迎えてくださり、人の距離の近さや自然の豊かさに惹かれて、「ここで暮らしながら、わたしも西川町をもっと元気にできるような活動がしたい」と思うようになりました。

みどり共創課に所属し、自然や農を通して子どもたちがワクワクできる体験づくりや、世代を超えて人がつながれる場づくりなどに挑戦していきたいと思っています。

見かけたら気軽に声をかけてもらえたら嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします！



退任のご挨拶

やぐち あきな
矢口 晃奈さん（吉川在住）

あっという間に月日が流れ、このたび、地域おこし協力隊としての任期を終えることとなりました。

西川町に移住してからの時間は、たくさんの発見と出会いに恵まれた日々でした。温かく迎えてくださった町民の皆さまには、感謝の気持ちでいっぱいです。

SNSでの魅力発信などを通して、西川町の素敵な景色や人、暮らしの魅力を伝える活動に関われたことを嬉しく思っています。

協力隊としての活動は一区切りとなりますが、これまでの経験を活かし、今後も動画制作を通して地域の魅力発信をしていきたいと思っています。

これまで本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。



クマの被害に注意しましょう！



野生鳥獣が集落に出没するのを防ぐための不要果樹伐採費用を支援します

補助対象者：自治会または個人

補助率：2/3 **拡充**
1本あたりの上限2万円→**4万円**（令和8年度から）

春から秋にかけて、町内ではクマの出没が増加する時期となります。西川町内では、令和8年6月1日時点でクマの目撃件数は5件ですが、山形県内では前年を大きく上回るペースで推移しており、警戒が必要な状況です。

被害防止のため、山林や農作業時は鈴やラジオなどで音を出し、単独行動を避けましょう。また、生ごみや収穫残さ、放置果実はクマを誘引する原因となるため適切に管理してください。万一遭遇した場合は、慌てず背を向けずに静かに後退することが重要です。

町では、不要果樹伐採費用や電気柵の購入費用に補助金を出しておりますので、みどり共創課までお問合せください。

【お問合せ】みどり共創課 鳥獣狩猟室 ☎0237-74-2113

図書館さ、いぐべ〜。

【お問合せ】
西川町図書館 ☎0237-85-0077

■ かわいい“しおり”をいただきました！

西川ドリームクラブ代表の奥山妙子さんより“しおり”をいただきました。以前より度々寄贈していただきましたが、この度「図書館に来てくださった方に差し上げてください」と、たくさんいただきました。かわいいしおりはすべて手作りです。ぜひご来館ください！



■ 貴重な資料を寄贈していただきました

岩根沢の藤本昭一さんより、「山形県の集落」「山形県地誌」他11冊を寄贈していただきました。とても貴重な郷土資料ですが、広く町民の皆様に利用していただきたいとのご要望でしたので、一般の書棚に置かせていただきます。ありがとうございました。

6月のおはなし会

6月20日（土曜日）10時30分から

こうさくもあるよ！

- ・いたずらにんじゃをつかまえる
- ・ふしぎな力サヤさん
- ・よくばりすぎたねこ
- ・ふくろうのそめものや
- ・かたつむりのいえさがし
- ほか

令和8年4月より図書館の休館日が変更になりました。

変更前 水曜日

変更後 月曜日

※月曜日が祝日でも休館となります。

TOPICS

今月のまちの情報をお届けします。

農業委員・農地利用最適化推進員を紹介します！

公募により選任され、議会の同意を得た農業委員10名に町長から任命書が手渡されました。農業委員会会長には阿部栄蔵さん、会長職務代理者に佐藤義美さんが選任されました。

また、地域からの推薦により選ばれた農地利用最適化推進委員6名に農業委員会の阿部栄蔵会長から委嘱状が手渡されました。

農業委員、農地利用最適化推進委員ともに、任期は3年で、西川町の農地利用の最適化に向けた活動を行っていきます。



▲農業委員の皆さん



▲阿部会長(中央)と農地利用最適化推進委員の皆さん

人権擁護委員の奥山茂喜委員・高橋千鶴委員へ感謝状

奥山茂喜委員(海味)においては、平成29年に就任され現在に至るまでの長年の功績を称え、令和8年度山形県人権擁護委員連合会定時総会において「法務省人権擁護局長感謝状」が贈られました。奥山委員はこれまで人権擁護委員としてご尽力いただきましたが、6月30日をもって退任されます。

また、高橋千鶴委員(吉川)の日頃の積極的な人権啓発活動に対し、令和8年度寒河江人権擁護委員協議会において「山形地方法務局長感謝状」が贈られました。



▲奥山茂喜委員(左)、高橋千鶴委員(右)

絆深まる熱戦！ 第55回西川町壮年親善ソフトボール大会開催

5月17日、晴天のもと第55回西川町壮年親善ソフトボール大会が町民グラウンドで行われました。

今年は、町内各地区から6チームが参加。たくさんの好プレーと声援に包まれ、会場は終始盛り上がりました。世代を超えた交流が生まれ、笑顔あふれる一日となりました。

上位2チーム(K-1・睦合アベンジャーズ)は、7月26日に寒河江市で開催される西村山地区ソフトボール大会の出場権を獲得しています。

【大会成績】 優勝：K-1(海味)
準優勝：睦合アベンジャーズ(睦合)
第3位：海援三太郎(海味)、水沢デルベーズ(水沢)



▲優勝したK-1のみなさん

高齢者住宅の清掃ボランティアを行っていただきました！

5月11日、西川月山ロータリークラブ会員8名、ケアハイツ西川職員3名により高齢者住宅の清掃作業活動を行っていただきました。毎年ロータリークラブにより地域社会奉仕事業の一環として、住宅渡り廊下のガラス磨き、菜園周囲の整備など普段手の行き届かない箇所を清掃していただいております、入居されている方々も大変喜ばれておりました。

早朝の肌寒い中にもかかわらず清掃作業にご協力いただきありがとうございました。



▲西川月山ロータリークラブの皆さん

株式会社ボードレスジャパン「For Good」と包括連携協定を締結しました

5月19日、西川町と株式会社ボードレスジャパン『For Good』(福岡県、代表：小松航大)と包括連携協定を締結しました。

同社のノウハウを活用し、空き家の活用など、地域プロジェクトの資金調達や関係人口創出を図っていきます。

今回の協定により、当町にて実施される空き家活用に関するクラウドファンディングの手数料が5%に軽減され、事業者の負担軽減とより多くの挑戦の後押しとなり、今後は地域資源を活用した事業創出なども期待されます。



▲For Good 小松代表(左)、菅野町長(右)

雪上藻類の研究最適地「西川町」で講演会と観察会を実施

6月6日、雪上藻類講演会(主催：日本藻類学会有志)が西川交流センターあいべにて開催されました。西川町は日本の中心的な雪上藻類の研究拠点の1つとなっており、全国各地から参加された方々が雪上藻類の学びを深められていました。翌日7日には、山形県立自然博物館にて観察会も行われ、参加者は雪上藻類が雪を赤、緑、黄色に染める「彩雪現象」に感動されていました。



▲西川町の事例等を紹介する発表者

郵便局ミニ対話会 ご意見・要望における回答

参加者 居住地域	ご意見等	回答
大井沢	大井沢郵便局のキオスク端末でカラーコピーが利用できるようにしてほしい。また、住民票等の証明書について、他市町村の方も取得できるよう、町から近隣自治体へ働き掛けをお願いしたい。大井沢にゆかりのある方が帰省した際、各種書類作成のために住民票等を取得できる環境を整えてほしい。	大井沢地区にはコピーができる施設が限られていることから、関係機関と調整を行い、大井沢郵便局のキオスク端末でカラーコピーができるよう対応いたしました。あわせて同端末では、住民票等の証明書を取得することが可能ですが、証明書を取得できる端末等は各自自治体が指定しているため、市町村によって利用できるかどうか異なります。対象の市町村や利用可能な店舗・端末については、地方公共団体情報システム機構(JLIS)のホームページでご確認いただけます。2026年4月現在、山形県内では本町も含め33の自治体が住民票等のコンビニ交付を実施しています。 JLISホームページ: https://www.lg-waps.go.jp/01-04.html ☎ 0237-74-4118 【町民税務課町民窓口係】
水沢	町内会でも空き家が増えてきた。雪下ろしも含め、空き家管理が心配です。	冬期間の空き家の管理については、所有者への雪下ろしの管理等の注意喚起をするとともに、危険な空き家については指導書、勧告書により適正な管理を要求していきます。 ☎ 0237-74-2119 【総務課総務係】

※キオスク端末とは、利用者が自ら操作してコピー等が行える端末です。

【お問合せ】 つなぐ課町民つなぐ係 ☎ 0237-74-2112

広告を募集します！

町広報誌「NETWORK にしかわ」に広告を掲載していただける事業者を募集します。多数のご応募をお待ちしています。

詳しくは右記二次元コードよりホームページをご覧ください。



【お問い合わせ】

つなぐ課

☎ 0237-74-2112 ✉ tsunagu@town.nishikawa.yamagata.jp

子供会や
学年行事など
団体予約大歓迎！

\\4/25 オープン\\
**HOBIE
BASE
GASSAN**
詳しくはこちら▼

月山湖に
幻の滝・水没林が
出現！

お問合せ
はこちら

株式会社 月と山 ☎ 0237-84-0655



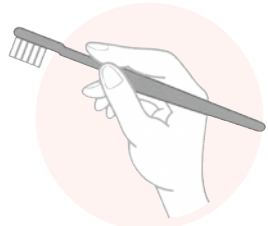
■ 歯磨きの仕方と歯ブラシ選び



★歯磨きの基本★

～『6月は歯の衛生月間』～

①歯ブラシは鉛筆持ち



②歯ブラシの毛先が広がらないくらいの軽い力で小刻みに動かす



適正な
ブラッシング圧は
150g～200g

③歯の表面に毛先をしっかりと当てる



角度は
90度

★歯ブラシの選び方★

◆ヘッドは小さめ、毛のかたさは「ふつう」

➡奥歯、細かいところまで届き、しっかりみがくことができる。

◆持つところがストレートのもの

➡歯への当たり方が手に伝わりやすいので動かしやすい。



■ やったね !!

★虫歯ゼロのお友達★

3歳児健診
4月22日
実施



あべ そうすけ
▲阿部 綜祐さん

伊藤貢先生の

元気アップ！運動教室 PART333

今月のテーマ：「脚の筋肉を鍛えて、
脳の健康も守りましょう！」



山形済生病院
健康増進センターめぐみ
健康運動指導士 伊藤 貢

認知機能の維持には、「脚の筋力」が関わっている可能性があるといわれています。海外の研究では、軽度認知障害のある55歳以上の方が、週2～3回の筋力トレーニングを半年間続けた結果、認知機能の改善がみられたと報告されています。

特に、上半身よりも「下肢（脚）の筋力」が向上した人ほど、脳機能の改善が示されています。足腰を鍛えることは、歩行を助けるだけでなく、脳の健康維持にもつながることが期待されています。まずはご自宅で、椅子からの立ち座り運動など、無理のない範囲で取り組むことから始めましょう。

西川町では、毎月「らくらく運動教室」を開催しています。健康づくり・体づくりの機会として、ぜひご参加ください。（※日程は町のお知らせまたは保健センターにお問合せください。）

ペットボトルを使って筋トレ！ 脚の筋肉を鍛えましょう！

両手にペットボトルを持ち、椅子からの立ち上がり動作をゆっくり繰り返します。体力のある方は、立位で行ってみましょう。

10回×
3セット

■股関節・膝関節・足関節の3つの関節を上手に使う意識を持ちましょう。



■立位（体力のある方）



参考・引用資料

公益財団法人 健康・体力づくり事業財団
健康づくり 健康づくり 2020.2 P15
運動・身体活動のエビデンス152 レジスタンス運動に伴う認知機能の改善に下肢筋力の向上が媒介する

●注意点

・体に痛みや不快な違和感があるときは、運動を中止してください。
・呼吸を止めずに、行いましょう。
※ご紹介した運動についてご不明な点がありましたら、運動教室にてご確認ください。

にしかわ保育園

わいわいひろば

保育の理念

★子どもに愛と生きる力を

保育目標

★雪のようにきらきら輝く子 ★太陽のようにつよくたくましい子
★緑のようにやさしくあったかい子

大切にしていること

★しっかり看つめること ★ぎゅっとハグすること
★自分の興味を満喫させてあそぶこと ★思いっきりカラダを動かすこと
★大人みんなで精一杯愛すること ★大人も育つこと

わいわい広場（6月）

人権擁護委員さんと一緒に花植えの活動

5月8日、保育園では、人権擁護委員さんが来園して、子ども達と一緒に花植えとじゃがいも植えを行いました。当日は、年長さんのおじいちゃん、おばあちゃんも参加して、楽しい時間になりました。人権擁護委員さん、お手伝いいただいたお家の方ありがとうございました。



▲人権の花運動

民生児童委員さんと端午の節句

子ども達みんなが、元気に強くたくましく、大きくなりますようにお願いする端午の節句の行事が5月15日に行われました。スペシャルゲストに民生児童委員の皆さんが来園して、子ども達と一緒に、端午の節句にちなんだ〇×クイズを楽しみました。わきあいあい♪笑顔がいっぱいの時間になりました。



▲子ども達の見守りありがとうございます

楽しく英語にふれよう♪ハッピータイム

保育園では、毎週水曜日ALTのジョー先生が来園して、英語で読み聞かせ、リズムあそびやゲームなど、年齢に合わせて楽しく英語にふれあっています。これから生きる子ども達、興味をもってくれたら最高です♪



▲英語の読み聞かせも集中できます

子育て支援センター「ぽっかぽか」

5月の誕生会

5月に1歳になるお友だちのお祝いをしました。おうちの方やお友だちに囲まれながらみんなで歌を歌ったり、手遊びを楽しんだり、かわいい笑顔がたくさん見られ成長をみんなでお祝いする温かな誕生会となりました。



▲1才になりました

つくるべえの日

子ども達のかわいい足形を使って手作りこいのぼり製作を行いました。絵の具の感触を楽しみながら、色とりどりのこいのぼりが完成しました。



▲上手にできたね、こいのぼり♪

名水サミット 開催記念 町の水、町の暮らし

【ブナの原生林】

月山山麓には、清らかな湧水を育む豊かなブナの原生林が広がっています。

降り積もった雪解け水は森の土壌でじっくりろ過され、長い年月をかけて清冽な湧水となり、地表に湧き出します。この自然の循環によって生まれた水は、農業や生活用水、観光資源としても大切に活用され、町の暮らしを支えてきました。森の保全活動や自然学習の場としても親しまれ、訪れる人々に水と森のつながりの大切さを伝えています。

名水サミットでは、湧水とブナの原生林の関係に注目し、地域の水文化や自然環境の価値を広く紹介する予定です。

さらに、湧水群周辺のブナの原生林は季節ごとに表情を変え、春の新緑や秋の紅葉など美しい景観も楽しめるため、観光資源としても注目されています。豊かな自然環境が育む水の恵みを守り、未来へつなげていくことが、西川町の大切な取組です。



▲月山山麓のブナ林

9/25
開催



▲「名水サミット in にしかわ」ホームページの二次元コード

今月の表紙



今月号の表紙は西川小学校の大運動会です。赤組、白組にわかれて徒競走や応援合戦に全力で取り組んでいました。

印象的だったのが、高学年の児童が、低学年の児童にアドバイスをしながら自組が活躍できるように声がけしていたところでした。

ちょっとだけ大人の階段を登る場面に立ち会えた瞬間でした。

編集雑記

担当になって2ヶ月。町のいろんな場所、いろんな人に会う機会がありとても刺激を受けています。

先日、西川小学校や西川中学校の大運動会や体育祭に取材に行った際に、子ども達が純粋にチャレンジしている姿に感動をおぼえました。

子ども達は全力でチャレンジしているから失敗もしていましたが、それを見て、チャレンジとは失敗してこそ意味があるのではないかと感じました。

失敗を受け入れる寛容さによって、チャレンジする環境を自分にも他人にも整えたいものです。

(工藤)

2026
7月25日(土)
開会 16:00~
花火打上 19:30~

📍 交流センターあいべ周辺
🎆 花火打上場所
西川小グラウンド・旧沼山小跡地・東泉寺裏

5,000発の花火!
主催：にしかわ夏祭り実行委員会 TEL 0237-84-0566

にしかわ夏祭り
お誘い合わせの上、ぜひご来場ください! 詳しくはこちら →

▼以下の4つが町の公式 SNS です

6/1	現在の人口と世帯数	人口	男	2,100人	女	2,198人	計	4,298人	世帯数	1,763
	()は前月比			(-5)		(-7)		(-12)		(-1)